

2019年5月19日（日）

主 題：「心を騒がしてはなりません」

—信頼できるお方—

聖 書：ヨハネ福音書14章1～11節

### はじめに

- ・「人生は綱渡りだ！」という言葉聞きます。

綱渡りとは軽業のひとつで、高所に綱を張りその上でさまざまな芸を演じながら渡る芸のことです。つまり、私たちの人生は綱渡りのように不安定であるということです。

#### 『例話』 ネパールでの貴重な綱渡り経験

- ・しばらく前になりますが、私はネパールへ宣教旅行に行きました。すばらしい旅で今も記憶に残っています。そこは、ヒマラヤ山脈のエベレスト（世界最高峰、8,848m）が見える所でした。ヒマラヤ山脈の平均高度は4,800m。バミール高原からインド・チベットの間、東西に連なる世界最高の大山脈です。
- ・ネパールの首都カトマンズも、高度1,400mです。高い山々と峡谷が多いので、町から町へ、村から村へ移動することは本当に大変で、一般的には徒歩しかありませんでした。それは何時間もかかることです。
- ・ある時、峡谷を超えて川を渡り向こう側へ行かなければなりませんでした。そこには、「吊り橋」（約100m）がかけられていました。もし、吊り橋を利用しないならば、一度川の下まで降りて行き、遠回りして川向うに渡る手段しかありませんでした。約4時間も要すると言われました。
- ・私は高所が大の苦手ですので、なるべく吊り橋は利用したくありませんでした。しかし、約100m向こう側へ行くのに、4時間も歩く気にはなりませんでした。やむを得ず、吊り橋を渡る一大決心をしました。
- ・ところが、その吊り橋は風雨にさらされかなり痛んでいました。吊り橋の真ん中に板（幅約40cm）が置かれ、その左右はネットが張られて何もありません。橋を渡る人は両手を左右に広げると、丁度ロープ（対岸から手前にある）を握れるようになっていました。
- ・ところが、その板がボロボロ（腐っていて）になり穴が空いており、その下約50mは濁流が流れていました。ネパールの川には人肉を食べる魚がいると聞かされていきましたから、平穩ではありませんでした（水葬）大。もし、足を踏み外し落下すれば大変なことになります。おまけに、吊り橋は左右、前後に大きく揺れるのでした。私は渡ろうとした3人の真ん中でしたから、揺れはさらに大きくなり、もう生きた心地はありませんでした。



- ・冷や汗をかきながら、やっと対岸にたどり着いた時ホットしました。  
そこで見たのは、吊り橋を張っていたロープ止めの部分が腐り、もう少しで切れそうであったことでした。私はもうビックリ仰天でした。とにかく無事に、対岸へ渡れたことに安堵しました。忘れられないネパールでの「思い出」となりました。
- ・皆さん！ 私が対岸に渡るためには、信頼できるのは吊り橋の左右のロープだけでした。対岸のロープ止めが切れるかも知れないと、もし分かっていたならば、私は不安で決して渡ることはしなかったでしょう。
- ・考えてみれば、私たちの人生、先が見えない綱渡りではないでしょうか！  
人生、何が起こるか不明です。明日の命さえ不明です。もし自分の人生が、私が渡った吊り橋のようであるならば、不安で一杯となっても当然です。  
人生の先を知っておられる方は、ただお一人です。→ 神お一人です。
- ・イエスは次のように言われました。ヨハネ福音書  
14:1 あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。
- ・私たちは人生において、何（だれ）を信頼しているのでしょうか？  
ある方は、友人の保証人となり、信頼して印鑑を押したため、大きな被害を受けた方もいます。
- ・ある方は、仕事でトラブルに巻き込まれ、生きる勇気を失っているかもしれません。心騒がせるネタは尽きません。⇒ どうすれば良いのでしょうか？
- ・皆さん！ 私たちは何を信頼したら良いのでしょうか？  
⇒ 天地創造の神（イエス・キリスト）  
イエスは、「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」（ヨハネ14:1）と言われました。

\* まことに信頼できるお方は、どんなお方でしょうか？ 3点

### 大切なポイント

#### 1. 正しいお方であること

- ・社会の腐敗はあらゆる分野で見られます。  
政治（選挙）、教育（不正入学）、ビジネス・・・・・・・・。
- 聖書は次のように語っています。ローマ3章10～12節（読む）  
3:10 それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもない。  
3:11 悟りのある人はいない。神を求める人はいない。  
3:12 すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行なう人はいない。  
ひとりもない。」
- ・正しい方（義であるお方）⇒ 信頼できる人です  
聖書は次のように語っています。  
「彼（神）に信頼する者は、失望させられることがない。」ローマ9:33

\*まことに信頼できるお方は、どんなお方か？

## 2. 平安を与える方

- 私たちの身体に休み（安らぎ）が必要なように、心にも「平安」が必要です。  
とくに今の時代、科学や技術が進み大変便利になりましたが、忙しくなりました。社会では能率を上げ、成果が求められます。それによってストレスは増大します。
- ストレスが増せば、当然心が不安定になります。現代、多数の人々は魂の安らぎを求めています。前途、有望な若者たちは希望を失っています。自分はなんのために生きるのか。自分の存在はなんのためだろうか・・・と案じています。
- 皆さん！ 神が人をお造りくださった目的は、いったいどこにあるのでしょうか。聖書は語っています。「**私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。**」 エペソ 2：10  
私たちは「**良い行いをするために**」造られた存在です。そこには、真の平安があり、意義があります。神が備えておられる目的があります。
- 神を知る人生は、自分の存在目的を知る道でもあります。イエスは「**わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。**」（ヨハネ 14：6）と言われました。真理は、人に「平安」を与えます。
- イエスは十字架にかかれ、3日後に死から復活されました。その後、ガリラヤ湖畔で弟子たちに姿を現され、その第一声は「**Peace be with you!**」（**平安があなたとともにありますように**）でした。
- 神が私たちに与えられる贈物、それは平安です。私たちはこのお方を信頼することによって、平安をいただくことができます。

\*まことに信頼できるお方は、どんなお方でしょうか？

## 3. あなたを祝福する方です

イエスは彼に言われた。「**わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。**

ヨハネ 14:6

- イエスは、あなたに真理のいのちを与える、生かすお方です。イエスは、あなたを愛しておられます。愛しておられるからこそ、あなたを祝福したいと願っておられるのです。

### 『例 話』

- 私は月1度「聖書の集い」という集会を開いています。しばらく前ですが、カトリック教の信者の方が来られました。彼女は他の方より早めに来られたので、お話する時間がありました。彼女はこう言いました。
- 「私は、今から30数年前のことが忘れられません。それは、私が保育士として教会の付属幼稚園に通っていた時のことです。お昼寝の時間、園児たちを寝かせようとしている時に、自分も横になりました。すると、サムエル少年が両手を合わせ、『主よ、お話

ください。しもべは聞いております。』という姿の絵と聖書のみことばが書かれています。

- ・私は、子どもたちの小さな手を握り、『イエス様、休みます。休息を与えてください。』と祈り、お昼寝の休みにつきました。ところが不思議です。毎日そのようにしていると、子どもたちにもお祈りすることがリズム化され、だんだん身についていきました。
- ・そして30年以上経った今も、私の脳裏からこのことが離れないのです。それは、あの時の、あの場の、あの祈りの光景です。心を騒がせることなく、子どもと一緒に祈りしていた時のことです。そこで、私はもういたたまれなくなり、教会に行き始めました。」

- ・幼い子どもの心に記された聖書のみことばは、それは平安でした。聖書のことばは、子ども生涯だけでなく大人の心にも残るものです。

私たちはどんな言葉を受けて、これまで歩んできたでしょうか。私の心を励まし、勇気と力を与える言葉を受けてきたでしょうか。聖書は、「十字架のことばは、ほろびに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。」(1コリント1:18)

- ・子どもが小さい時に、どんなことばを受けて、どんな言葉で養われるかは非常に大切です。逆に。幼い時に傷を受け、その傷がヒーリングされるのには、とても時間がかかります。しかし不可能ではありません。聖書のことばは、私たちの心に語り、私たちの人生を祝福してくださいます。なぜなら、神の書であるからです。
- ・イエスは言われました。

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

ヨハネ 14:6

- ・皆さん！ 私たちの人生で心騒ぐ時も；
  - ① 神はご臨在されます
  - ② 必ず解決の道（貴重なレッスン）はあります
  - ③ 約束のことばがあります（ヨハネ14・1）
- ・いかがでしょうか。私たちの人生、心騒がせることが多いのではないのでしょうか。しかし、イエスは言われました。

14:1 あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。

イエス・キリストを信頼（信仰）し、平安をもって歩もうではありませんか。

## ま と め

主 題：「心を騒がしてはなりません」

—信頼できるお方—

- ・今日、私たちは幸いな聖書のみことばを聞きました。私たちが生きる上で、大切なことは「信頼」です。私たちは本当に信頼できるお方（神）を知っているのでしょうか。
- ・真に信頼できるお方には、3つの特徴があることを学びました。

1. 正しいお方である
2. 平安を与えるお方である
3. 祝福を与えるお方である

「あなたがたは心を騒がしてはなりません。

神を信じ、またわたしを信じなさい。」 ヨハネ 14:1

\* God bless you!